年　　月　　日

平成２８年度補正 灯油配送合理化促進支援事業「共同利用・灯油配送」実績報告書

（灯油配送用貯蔵タンク用）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 交付承認番号　灯油－２９－　　－

|  |  |
| --- | --- |
| 　(申請者) |  |
| 住　　　　所 |  |
| 氏名又は名称 |  |
| 及び代表者名 |  | ㊞ |
| 電話番号 |  | 担当者 |  |

**１．「共同利用・灯油配送」を行った構成員**

|  |  |
| --- | --- |
| 社　　名 |  |
| 住　　所 |  |

**２．配送した補助対象地域名（都道府県名および市町村名を記載して下さい）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域１ | 地域２ | 地域３ | 地域４ | 地域５ |
| 地域６ | 地域７ | 地域８ | 地域９ | 地域１０ |

　※１：「豪雪地」「過疎地域」に旧市町村名が記載されている場合は対象地区名を記載してください。

**３．「２.」で記載した地域の配送実績（対象期間中の実績合計を記入してください）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 地域１ | 地域２ | 地域３ | 地域４ | 地域５ |  |  |
| 1. 対象期間
 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 |  |  |
| ②灯油積み替え量 | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |  |
| ③配送量(合計) | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |  |
| ④配送先件数 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |  |  |
|  | 地域６ | 地域７ | 地域８ | 地域９ | 地域１０ | 地域１～１０の合計 | 達成状況○：達成×：未達 |
| ①対象期間 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 | 　　年　月～　 年 月　 |
| ②灯油積み替え量 | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ③配送量(合計) | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ | ＫＬ |  |
| ④配送先件数 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 | 件 |  |

**４．地域１～１０の合計量が計画に達しなかった場合、主たる理由と改善策をご回答ください。（１つずつ選択）**

○主たる理由※あてはまるものに１つ○印

|  |  |
| --- | --- |
|  | 需要の減少（高齢化・人口減、他のエネルギーへの転換、大口取引先の移転・倒産等） |
|  | 配送要因不足（人手不足） |
|  | その他　具体的に記載 |

○主たる改善策※あてはまるものに１つ○印

|  |  |
| --- | --- |
|  | 新規顧客の開拓 |
|  | 人材確保・育成・配送効率の改善（配送ルートの見直し等） |
|  | その他　具体的に記載 |

【共同利用・灯油配送に関する注意事項】

・共同利用・灯油配送実績内容について石油協会や国が調査を行うことがあります。

・そのため、上記実績の基となる対象期間中の日別・月別の実績は、各自で管理して下さい。

・また、仕入れに係る伝票類及び各配送先に対する納品書や請求書等の写しを提出していただくことがありますので、補助事業完了の日の属する会計年度（４月１日～３月３１日）の終了後５年間保存して下さい。

**※本実績報告書は、「共同利用」を行った構成員ごとに作成して下さい。**

**４．補助金申請時に提出頂いた「長期的な事業継続により安定供給の責務を果たすための経営改善方針」のフォローアップ**

**（１）３２年度（2020年度）の経営目標（原則、申請時に記載した内容を記入。特段の状況変化がある場合には変更後の目標）**

|  |  |
| --- | --- |
| 年間灯油販売量 | ＫＬ |
| 灯油売上高 | 千円 |
| 油外売上高 | 千円 |

　　　　※企業全体の灯油販売量、金額を記載して下さい。

　**（２）直近年度の経営状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 年間灯油販売量 | ＫＬ |
| 灯油売上高 | 千円 |
| 油外売上高 | 千円 |

　　　　※企業全体の灯油販売量、金額を記載して下さい。

**（３）３２年度の経営目標を変更した場合その目標を達成するための具体的な取組**

※以下の８類型のうち最低２つ以上にチェックを付けていただき、具体的な取組の方針をコミットしていただきます。（**申請時に記載した内容に変化が無い場合は記載の必要はなし。申請時に記載した内容に変化がある場合に記入。**）

□類型１．顧客満足度の向上

例）自動車周辺ビジネス等へ展開し、ワンストップ・サービスを提供する経営

例）デザイン経営・IT武装により顧客ニーズを徹底把握する経営

＜具体的取組＞

□類型２．地域の多様なニーズや社会的課題への貢献

例）高齢化が進む過疎地域における見回り事業など、地域に求められる価値・サービスを提供する

例）災害時の安定供給に貢献するとともに、官公需等の固定的な受注を通して経営を安定化させる

＜具体的取組＞

□類型３．人材力・多様性を活かした価値の提供

例）女性や高齢者、中途社員など、多様な人材の活用により、顧客ニーズにきめ細かく対応する

＜具体的取組＞

□類型４．多角的な事業展開による事業ポートフォリオ最適化

例）経営の立ちゆかなくなったSSをM&Aで引き取ることにより事業を再生させるとともに、スピーディーに業務拡大する

例）プライスリーダーの出現リスクを考慮して他事業への転業可能な立地に出店する

＜具体的取組＞

□類型５．仕入れの共同化（商流の合理化）

例）ボランタリーチェーンのような共同仕入れ化を進めることにより、ボリュームディスカウントなど取引先との交渉力強化を図る

例）複数の仕入れ先を確保することで仕入れの競争力を高める経営

＜具体的取組＞

□類型６．物流の合理化

例）灯油の貯蔵タンクや配送ローリーを共同利用する等、複数社で協力して物流の効率化を図る

＜具体的取組＞

□類型７．受注の共同化

例）官公需等の組合受注による、精算手続きのIT化・省力化による業務効率化を図る

＜具体的取組＞

□類型８．個店レベルでの効率化

例）駆けつけ給油による人件費削減、高効率設備の導入等、個店レベルで効率化を図る

＜具体的取組＞